

一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	2年D巡	単元	実習	教科名	2D_CVT	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	日産3級TSテキスト_AT編 クロームブック		発行日	2026年4月1日
総時限	22時限		教科 担当	吉田 宗司		
総時間	35.2時間			北岡 尚人		
単位数	1					

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの着脱、分解、組立、点検等について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①CVTの構造、機能を理解する。
- ②CVTの電子制御装置を理解する。
- ③コンサルトを用いてデータモニタが表示値と関連性を理解する
- ④データモニタの値から故障個所の絞り込みができる

3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）

- ①CVTの構造、機能を理解できるようになる
- ②CVTの電子制御装置を理解できるようになる
- ③コンサルトを用いてデータモニタが表示値と関連性を理解できるようになる
- ④データモニタの値から故障個所の絞り込みができるようになる

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験 15点、筆記試験 85点にて総合評価する。
整備科、国際科 60点以上で合格、工学科70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 1. 実技試験
 2. 筆記試験
- ①データモニタのみでの故障診断 ①CVT全般筆記試験

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

